



四国電力からLED街路灯を寄贈いただきました

三好市庁舎市長室において10月22日に、四国電力株式会社池田営業所より13灯分のLED街路灯具が寄贈されました。

この日は、四国電力株式会社池田営業所の榊井所長より明るいまちづくりに役立ててほしいと街路灯の目録が手渡され、黒川市長が地域の安心安全のために役立てたいと謝意をのべました。

四国電力様よりいただきました13灯の街路灯は、市内各所の夜間の安全対策などに設置する予定です。

ありがとうございました。



三好市・東みよし町消費者被害防止協議会が設立

10月17日、東みよし町役場において三好市・東みよし町消費者被害防止協議会の設立総会が行われました。

協議会は消費者被害の未然防止や早期発見などを目的に三好市と東みよし町が設立したもので、みよし消費生活センターを中心に高齢者や障がい者などの見守りネットワークを構築します。

総会後、消費者庁（消費者行政新未来創造オフィス）小熊智子氏による講演があり、消費者被害防止における協議会の活用等についてお話をいただきました。



水道の安定と健全化に向け答申書が提出されました

三好市水道事業等経営審議会は、平成29年4月1日より経営統合された三好市水道事業の水道料金の改定について黒川市長から諮問を受け、審議会を開催してきました。

市民生活や社会経済活動にとって欠くことのできない水の安全安心で、安定した供給と水道事業経営の健全化について審議を重ね、「答申書」を10月17日に黒川市長に提出しました。

市では、この答申書を基に水道料金の改定を含めた中長期経営計画を策定する予定です。



おもしろいこと、珍しいもの、耳よりの情報など、身近なまちのニュースがありましたら教えてください。

秘書人事課 ☎ 72-7646

平家伝説創作劇最終公演 最後の熱演に大きな拍手

祖谷粉ひき節の歌声を競う「第13回祖谷の粉ひき節日本一大会」が、10月6日と7日に東祖谷歴史民俗資料館で行われ、全国から36名の民謡自慢が出演しました。大会は祖谷の粉ひき節部門と東祖谷の粉ひき節部門で予選と本戦を行い、両部門の1位が競った決勝では吉野川市の松原松代さんが総合優勝を果たされました。

粉ひき節の本戦が行われた7日には、地元住民グループ「祖谷十八人会」と東祖谷の小中学生らが、平家落人伝説を題材にした創作劇「別離二つ」を熱演し、観客を魅了しました。

祖谷十八人会が行う平家伝説創作劇は、平成22年の平家まつりで初上演された後、毎年平家まつりなどで上演され人気を博してまいりましたが、祖谷平家まつりの休止などにより今回が最終公演となりました。劇の終演後には訪れた観客250人から名残りを惜しむ大きな拍手が送られました。



100才おめでとうございます



鎌井久江さん（池田町イタノ）

10月10日、鎌井久江さんが100歳を迎えられ、県や市、遺族会から祝い状や記念品が贈られました。

鎌井さんは戦争で夫を亡くしながら、看護師として働きながら一男一女を女手一つで育て上げました。現在は娘さん夫婦とご自宅でゆつくりと過ごされています。

この日は親族から花束を受け取り、「こんなうれしいこと無いわ」ととても喜ばれていました。これからもお元気でお過ごしください。



伊丹ヒサエさん（池田町州津）

10月18日、伊丹ヒサエさんが100歳を迎えられ、県や市から祝い状や記念品が贈られました。

伊丹さんは池田町議を7期務めた夫を支えながら二男一女を育て、ご自身も婦人会長を務められました。現在は自宅近くの高齢者施設で得意な塗り絵などをして過ごされています。この日はご自宅で花束やケーキで祝福され、「ありがたい事やな」ととても喜ばれていました。これからもお元気でお過ごしください。



あの頃 あの歌 昭和のヒットパレードに歓声

第11回三好市民文化祭のオープニングイベントとして10月8日、池田小学校体育館で北海道歌旅座による昭和のうたコンサートが開催されました。

誰もが聞いたことのある懐かしい昭和の名曲に、訪れた約280名の観客は音楽に合わせて体を揺らしたり、一緒に歌ったりと、昭和時代の懐かしさに包まれたコンサートとなりました。

札幌市を拠点に活動する北海道歌旅座はニッポン全国市町村公演として日本各地に懐かしい歌を届けています。



ラフティング社員研修の実証実験を開催しました。

スリル満点の激流下りで一体感を高めるなど、吉野川ラフティングを企業の社員研修に活用してもらおうと、企業団体向けのラフティングツアーの実証実験を10月16日に開催しました。

実証実験には、市職員やサテライトオフィス進出を検討しているIT企業の社員など24人が、6人1組でボートに乗り、吉野川の激流下りや池田ダム湖でのスラローム競争を体験しました。

今後、来年3月にも実証実験を行い、ツアーの商品化を目指します。



みんなの心をひとつに 笑顔で学校ダンス発表会

ダンスを通して身体を動かすことの楽しさや自己表現力・協調性を育もうと10月18日、学校ダンス発表会が池田総合体育館で開催されました。

67回目を迎えた今回、県西部の幼稚園から中学校までの16校・園合わせて約390人が出場し、練習の成果を披露。参加した各学校の発表では、今年流行した「バブリーダンス」や「いいねダンス」などのダンスが披露され、全身を使った演技や笑顔あふれる表情に、大きな拍手が送られていました。



三縄小でヘリコプターによる防災訓練を実施

三縄小学校で10月25日に防災訓練が行われ、児童や先生、地域の住民など約100人が参加しました。

県消防防災ヘリの支援を受けて行われた訓練は、大災害で小学校が孤立したことを想定して、グラウンドに大きく「SOS」と表示し、上空に飛来したヘリから地上の負傷者をロープで吊上げて救助する訓練を実施しました。

着陸したヘリの見学では、多くの児童から活発な質問があり、災害時のヘリの活動について理解を深めました。